口先ばかりの人命尊重か
またも宮浦で殺さる

故浦野市次さん

合理化強行にともなって、炭鉱災害の激発しているとき、宮浦鉱でまたもや災害のため一名の死亡者を出した。

六月一二日一三時一三分、宮浦鉱、上層西五〇卸四昇左〇片ローダー切羽で脚踏掘り中、側壁が崩落し、採炭工、浦野市次さん（四八才＝三池労組員）が外傷性脳出血のため重傷後、一四時五六分に死亡した。これで三川大爆発以後一八名も殺されたことになる。

三川支部の清藤さんが殺されて組合員・主婦会員の抗議の前に、会社幹部は「ふたたび災害を起さないよう、保安には十分注意します」という約束の舌の根もかわかぬうちに、またもや一名殺しました。

もうけるためには、人の命などどうでもよいというのか、組合員主婦会員の怒りは、一四日、全支部二四時間ストを決行し、勝立集会所で行なわれた浦野さんの社葬に全員参列し、葬儀後会社幹部に対して怒りの抗議を行なった。

人を殺して警察権力をかさにきる会社

会社幹部は「社葬後の抗議は受けません」と事前に連絡するなどして、人を殺していながら、組合員の要求を聞こうという誠意の一片すら見せない態度をとり、その上、社葬終了後一四時四〇分に抗議行動に入ると同時に、二〇〇名近い警官隊が到着しました。

組合員・主婦会員から「人を殺していながら、警察権力でわれわれを弾圧するとは何事か。それでも人間のやることか」という怒りが爆発しました。

会社幹部は終始、ごうまんな態度をとり、組合員からの「今後の転場での保安はどうしてくれるのか。最高責任者として答えていただきたい。その返事をきかなければ安心して仕事はできない」という切実な要求に対しても「このような集団の圧力のもとでは、答える必要はありません」という、人を殺したことへの責任の一端も見せないありさまであった。

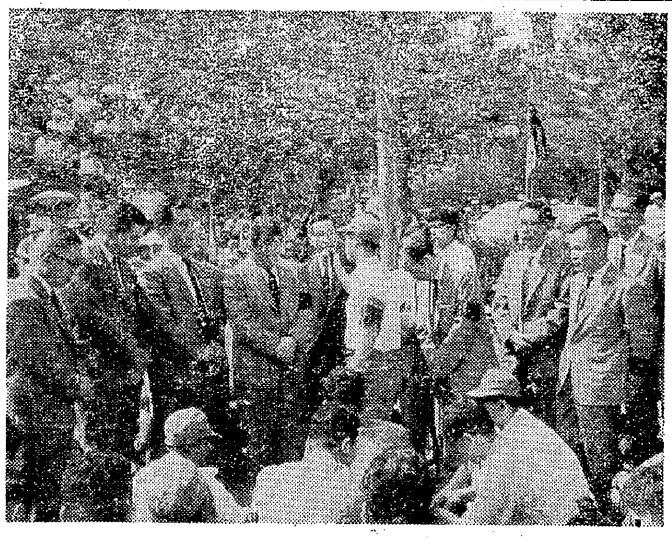
しかし、全員の「三川の清藤さんのとき約束したことは、あれは三川だけの問題だと考えているのか」との強い抗議に、一七時ごろになってついに最終的に、会社幹部は、

①責任をもって保安確保に努力します。もし万一確保できないときは、責任をとるべきときはとります。

②早急に組合と団体交渉をもちます。

③遺族の生活補償については、最善の努力をします。

を約束した。私たちは、転場地域で、今後より一そう命を守るため、監視・要求の構えを強化しよう。



≪現場の保安は守られていない≫と
激しく会社幹部への抗議が行なわれた

退職するに当って

代表＝本所・田中末成

本日は組合総会の当日に皆さん方の元気な姿を眺めて本当に心強く感じております。

本年三月以来の停年退職者ならびに、けい肺病のため退職された方々の代表として、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は私たちのために表彰状やその他記念品をいただき本当にありがとうございました。今日のこの日を永久に忘れずに、この記念品を大事に保管し、今後の思い出の一助にしたいと思います。

思えば組合創立以来、幾多の思い出もあります。

人間らしい生活をするために斗争に斗争を積み重ねて、今日の完成された三池労組が出来得たことは、皆さんと共に誇りとしております。

過去においても私たちの要求は決して不当ではありませんでした。分裂以後三池労組の組合員も多数の同志が減りましたが私たちの組合運動の正しさは、日本の全労仂者はもとより、全世界の労仂者が見守っております。三池の火は、三池の労仂者魂は全国の至る所で燃えつづけております。

三池を守る会も、グングンと発展している現状です。製作所では今でも一九名の同志が、がんばりつづけております。少数の精鋭の見本です。三池労組では、まだまだ三千数百名の同志が、ガッチリとスクラム組んでいる間は、必ずや近い将来明るい未来が来ることを確信もっていえると思います。

皆さん方は、全労仂者の指導者となって今後も大いに活躍してください。

では簡単ですが、これにて代表としてのあいさつにかえさせていただきます。

（六月一三日、定期総会にて）

山野災害に抗議する
三池被災者の訴え

六月一日の山野鉱ガス爆発によって、二三七名の仲間の命が奪われました。この報に接した三池の被災者は、労仂災害をなくし、生命を守るために、斗う以外にこのような悲惨な事故を妨ぐことはできないとして、大綱次のような声明を発表しました。

①石油に従属する政府の石炭政策を変更すること。②災害の根本的原因を究明し、会社、政府の責任を徹底的に追及する。③遺族、被災者の完全な生活保障を勝ちとると共に、CO特別立法を成立させる。④保安監督局、労仂基準局は人命尊重第一の業務を遂行するよう抗議する。⑤自分の生命は、自分で守るという決意を固め、斗いの先頭に立つ。

の五項目を、自分の身体を通じて得た教訓を忘れず、生き残った者の任務として、斗いを拡げることを誓った。

再びくり返された
三井山野のガス爆発

六月一日に起こった山野鉱のガス爆発は、ついに二三七人の死者を出した。

最近うちつづく炭鉱災害は、会社の出炭第一主義の合理化政策によるものである。山野鉱も一昨年一人当り一五トンの出炭量から四二～四八トンに引き上げられていた。

三池労組としては、六月三日にさっそく街頭カンパにとり組み、転場、地域でも署名とカンパ活動を行った。

集ったカンパ金は、街頭カンパ五五、三八〇円と組織内カンパ一一九、一二四円、第一次分として計一七四、九〇四円と見舞い品を持って遺族、CO患者家族を中心にして、一一日山野災害の遺族を激励した。

山野の遺族宅を訪れた
三池の遺族と被災者家族代表

山野の遺族をはげます

遺族　丸山昇

六月一一日、小雨にけむる山野炭鉱をおとずれた。

炭労対策本部に立ち寄り現状報告を受け、私たち一六名は四班に分れて被災者家族宅へ向った。

私たちは田中山地区の社宅へ行った。軒なみにといっていいほど花輪のしおれたのが軒先に立てかけてある。

私たちは同じ遺族の立場で話しあった。山野の遺族の人たちは、「事故発生当時は何をしてよいか考えもつかなかった。今後の家のことや生活のことを考えると、何もわからない。組合が三池のような組合であったら」と涙をふいている横に、新労より贈られた造花がしぼんで見えた。

ある家の老人は「爆発のあった一週間前に、坑内で小さな火災があった。だが会社は、一日だけ休業して復旧した。もう大丈夫だといって間もない今度の災害。会社がいうように、それが本当に小さな事故であっただろうか」

「会社は第二会社になってから経営がよくなったといって、最近畳の表替えやいままでつけていなかった畳のへりまでつけた。こんなことでだましていたのだ」と会社への怒りははげしかった。

またある家では「三池、北炭、伊王島と災害がつづいて、本当に可愛想だと思っていましたが、自分がその立場になって、本当に人ごとではなかったのだと痛りました」といっていた。

次の家では、大阪からかけつけたという兄たちは「炭鉱ではどうしてこんなに災害が多いのでしょう。やはり会社は生産だけを考えて、人間の命など何とも思っていないのでしょうね。慣れない組夫を安く雇い入れて、保安を完全に守れるものですか」と炭鉱経営者に対してやり場のない怒りをぶちまけた。

会社も組合も、遺族に対しての全く冷たい態度の中で、遺族は、殺された怒りをじっとかみしめていた。

私たちは山野を訪れて、遺族がいま何を求めているかをハッキリ知ることができた。私たちは三池の現状を話すとともに、悲しみの中から勇気を出して立ちあがられるよう激励した。いま山野の人たちに必要なのは、あたたかい同志愛による援助と激励ではないかと感じて帰った。

参議院補欠選挙候補
大中康雄（熊本）

参議院補欠選挙（熊本）は、六月二四日告示、七月一八日投票という日程が決定しました。

略歴

一、昭和二一年＝全逓熊本通信局資材部青年同志会長

一、昭和二三年＝全逓熊本通信局資材部青年部長

一、昭和二三年＝全逓熊本通信局支部長

一、昭和二三年一一月＝全逓中央執行委員

一、昭和二五年九月＝全電通中央執行委員（逓信電通二省分離による）

一、昭和二六年九月～昭和二八年一〇月＝中執解任、全電通通信局支部、熊本県地区本部役員兼務

一、昭和二八年一〇月～昭和三〇年一〇月＝全電通熊本県支部委員長歴任

一、昭和三〇年一〇月～昭和三四年八月＝全電通中央本部副委員長歴任

一、昭和三三年八月～昭和三四年八月＝日本労仂組合総評議会副議長

一、昭和三四年九月～現在＝熊本県労仂組合総評議会議長および全電通熊本県支部副委員長歴任

参院補欠選挙候補
大中康雄氏